

# 臨床薬理神経内科



## ① 診療科の紹介

当科は日本で唯一神経疾患を主対象とした臨床薬理学講座として開設されました。附属病院においては「臨床薬理神経内科」として外来・入院診療にあたっています。臨床薬理学とは、科学的な合理的薬物治療を指向する学問領域です。薬物治療の有効性と安全性を最大限に高め、個々の患者さんにとっての最良の治療、いわゆるオーダーメイド治療を提供することを目指しています。神経疾患を中心に内科全般の診療の中で、薬物動態、薬物相互作用を考慮した合理的薬物療法を行っています。また「臨床研究支援センター」の運営に携わり、臨床試験を通して新薬の開発、最新の治療を行っています。薬物治療に興味があり、臨床薬理専門医や脳神経内科医を目指す皆さんの参加を待っています。

## ② プログラムの目的と特徴

臨床薬理学を基盤とした適切な治療を行うことができる内科医、脳神経内科医の育成を目標としています。内科医としての武器である薬物治療について基本から学び、日常診療の中で臨床技能の研鑽を積み、そして臨床に基づいた研究を行うことができます。



## ③ 経験目標

### 【研修の基本的目標】

- ◆ 選択研修の内容に加え、更に多くの症例を経験することにより、幅広い内科医としての素養を養っていく。
- ◆ 治療に対する知識を深め「自分の薬箱」の薬剤の種類を増やしていく。
- ◆ 脳神経内科医として専門的医療を行いつつ、内科医として幅広く地域医療に貢献する。
- ◆ 臨床に主眼を置いた研究を行い、疾病の原因解明・診断・治療に貢献する。

### 【具体的目標】

- ◆ 神経疾患の入院患者を受け持ち、専門的な病歴聴取法や神経所見の取り方、電気生理検査等を習得し、急性期から慢性期にわたる患者の全身管理、治療について学ぶ。
- ◆ 内科医・脳神経内科医としての基本的手技を習得する。
- ◆ 薬物血中濃度測定を通し、合理的薬物治療法を経験する。
- ◆ 臨床試験をデザインし、実施することができる。
- ◆ 各専門学会において、症例報告や研究発表を行い、更に論文作成を目指す。
- ◆ 内科専門医の受験資格を得る。
- ◆ 臨床薬理専門医の受験資格を得る。
- ◆ 神経内科専門医の受験資格を得る。

## ④ 指導医や指導体制

役職	氏名	専攻	認定医等資格
特任教授 臨床研究支援 センター長	永井 将弘	臨床薬理、脳神経内科	日本内科学会総合内科専門医・指導医 日本神経学会専門医・指導医 日本臨床薬理学会専門医・指導医
講師	安藤 利奈	臨床薬理、脳神経内科	日本神経学会専門医、日本臨床薬理学会専門医 日本内科学会認定医
助教	多田 聡	臨床薬理、脳神経内科	日本神経学会専門医、認知症学会専門医・指導医 日本臨床薬理学会専門医、日本内科学会認定医
助教	宮上 紀之	臨床薬理、脳神経内科	日本神経学会専門医、日本臨床薬理学会専門医 日本内科学会認定医
助教	山西 祐輝	臨床薬理、脳神経内科	日本神経学会専門医、日本臨床薬理学会専門医 日本内科学会認定医
医員	伊藤 裕子	臨床薬理、脳神経内科	日本内科学会専門医

## ⑤ 研修に関する行事

- 月、木：神経電気生理検査
- 金：病棟回診、症例検討会、抄読会  
新規患者カンファレンス
- その他：神経カンファレンス  
脳波・てんかんカンファレンス  
リハビリカンファレンス

## ⑥ 研修終了後について

基本的には個々の希望が尊重されます。

- ・大学院 ・学位取得 ・各専門医取得
- ・国内留学 ・海外留学
- ・地域基幹病院勤務 ・地域医療 ・研究職 ・教育職

## ⑦ 連携病院について

### 【常勤医師赴任先】

済生会松山病院

### 【臨床協力病院】

松山リハビリテーション病院、南松山病院、松山ベテル病院、道後温泉病院、東明病院、住友別子病院、済生会西条病院、済生会今治病院、片木脳神経外科、市立大洲病院、JCHO 宇和島病院、聖マリアンナ医科大学東横病院脳卒中センター

## ⑧ お問い合わせ先

愛媛大学医学部附属病院 臨床薬理神経内科 (永井)

〒791-0295 愛媛県東温市志津川 454 Tel:089-960-5095, Fax:089-960-5938

<https://www.m.ehime-u.ac.jp/school/clpharma/>

